

2015年6月度家計分析

提出者数

152名の提出がありました。提出率は84.4%です。前月より3名、前年より1名減でした。記入の仕方がわからないなど、お困りのことがありましたら事務局までご相談ください。

収入

総合の実収入計は前年比96.0%でした。「賞与(夫)(妻)」「年金(夫)(妻)」児童手当などの収入はありましたが、「給料(夫)」「賞与(夫)」「年金(夫)」「自家営業(夫)」「パートアルバイト収入(夫)(妻)」「その他の収入」が前年を下回ったことが総合の実収入計の減少に反映しているようです。

非消費支出

税金、社会保険
私的保険

「賞与(夫)」が昨年を下回りましたが、妻の収入（「給料」「賞与」など）が昨年より多くなったこと、「固定資産税」を納付された世帯があったことから「非消費支出計」は101.7%と増えました。

消費支出

ランキングで総合の1位は「社会保険計」、2位は「税金計」、3位は「食費」となりました。1位、2位は「賞与」に関する支出増とされます。7月に「賞与」が支給される世帯もあるため、同じような傾向が7月にも見られると考えられます。「私的保険計」は損害保険や生命保険の年払い月だった世帯があるため4位となりました。

20～30代、40代、50代ではサマーキャンプ、授業料、海外研修などの支払いがあったため「教育費」が上位になっています。60代以上、年金世帯の「教養娯楽費」は旅行関連の支出によるものです。

「年金」と「賞与」の支給月でしたので、全年代で収支は黒字となりました。大手企業の夏季賞与は増えたようですが、地方自治体の知事の6割が景気に回復傾向が見られないと判断しているようです。

消費税率変更の影響もあって食品、日用品の値上げが続いており、財布のひもはなかなか緩められないようです。

ランキング

	総合	20代～30代	40代	50代	60代以上	年金世帯
1	社保 85,827	社保 103,319	社保 119,956	社保 120,825	食費 66,589	食費 64,841
2	税金 80,592	税金 67,921	税金 119,277	税金 118,741	社保 43,655	教娯 39,525
3	食費 67,679	家地 56,099	食費 71,574	食費 71,841	税金 39,036	社保 36,880
4	私保 36,017	食費 46,791	家地 62,249	私保 64,992	教娯 38,743	税金 33,389
5	職主 33,820	教育 41,238	教育 49,573	教育 59,996	交際 27,468	交際 27,977
6	家地 33,002	職主 37,146	職主 39,611	家地 50,086	職主 26,501	職主 26,766
7	教育 31,907	住他 24,075	私保 36,735	職主 39,946	私保 22,420	私保 17,676

税金：税金計、社保：社会保険計、私保：私的保険計、家地：家賃地代、

住他：住居費その他、水光熱：水道光熱費、教娯：教養娯楽費、職主：職業主婦費